

2023年10月12日

肝付町に対し企業版ふるさと納税による寄附を実施 ～地域公共交通の充実による住みよいまちづくりの創造事業に活用～

鹿児島トヨタ自動車株式会社（代表取締役社長：市坪 文夫 以下、鹿児島トヨタ）は、鹿児島県肝付町（町長：永野 和行）に対し、企業版ふるさと納税による寄附を実施いたしました。

2023年10月12日、肝付町役場において贈呈式が行われ、寄附金目録を社長の市坪から永野町長に贈呈しました。

寄附金は、肝付町における第2期肝付町地域創生戦略の地域再生計画「肝付町まち・ひと・しごと創生推進事業」にある「地域公共交通の充実による住みよいまちづくりの創造」の中の「利便性高いモビリティサービスの発展に向けたMaaS推進事業の実施」などに活用していただきます。

鹿児島トヨタでは、人口減少・少子高齢化の進行するエリアでの交通弱者の救済、ローカルモビリティサービスの拡充および産業振興による地域活性化を目指しています。

今回の寄附が、肝付町における持続可能なモビリティの構築と産業振興の一助になることを期待しております。



お問い合わせ先

鹿児島トヨタ自動車株式会社

未来事業研究企画室 當山 義英 TEL:099-223-6170 E-mail: y-touyama@k-toyota.co.jp



鹿児島トヨタ自動車
トヨタカーラ鹿児島

プレスリリース

2020年7月29日

おおすみ MMO【肝属郡3町】とトヨタ販売店2社の包括連携協定について

おおすみ MMO（会長 永野和行）と 鹿児島トヨタ自動車株式会社（鹿児島県鹿児島市：代表取締役社長 市坪文夫 以下、鹿児島トヨタ）、トヨタカーラ鹿児島株式会社（鹿児島県鹿児島市：代表取締役社長 中村博之 以下、カーラ鹿児島）は「SDGs」の実現に向けて地域課題の解決と地域社会の持続性向上に寄与することを目的に包括連携協定を締結します。

現在、多くの地域で公共交通が縮小しており、高齢者の方にとって通院や買物といった日々の生活において欠かせない移動に支障をきたすケースが増えています。誰もが利用しやすい便利な移動手段へのアクセスを提供することは重要な課題です。そこで持続可能な地域モビリティをはじめ、地元事業者とともに、コミュニティと連携した様々な活動や仕組みづくりを展開することで将来への可能性を広げられると考えています。

2020年度、おおすみ MMO と鹿児島トヨタ・カーラ鹿児島は、トヨタ・モビリティ基金の助成事業として採択された「自治体圏域を越えた広域連携体制による移動課題解決への新たなアプローチ」を目指す連携プロジェクトを始動しました。まずは、「地域モビリティ」をテーマに事業展開していきますが、更には持続可能な「まちづくり」や「観光振興」による地域活性化に繋がることを目指してまいります。

おおすみ MMO

- ◇鹿児島県肝属郡3町（肝付町、錦江町、南大隅町）及び地元事業者等による産官連携組織。
 - ◇2019年9月に「肝属郡広域 MaaS 協議会」として発足。2020年7月、「おおすみ MMO」に名称変更。
 - ◇3町では「SDGs」を見据え、広域連携による地域課題の解決（持続可能な生活圏の構築）を協議しており、当初取組む共通課題として「公共交通」が挙げられたことから、本協議会を組織するとともに、公共交通を軸に大隅半島全体の広域連携による施策の展開を図る。
- ※MMOとは・・・Mobility Management Organization（モビリティ・マネジメント・オーガニゼーション）の頭文字の略です。

【おおすみ MMO と鹿児島トヨタ、カーラ鹿児島との包括連携協定 調印式】

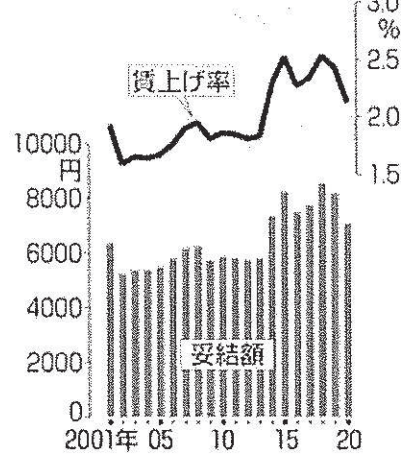
- ◇ 日時：2020年8月3日（月） 15:00~16:00
 - ◇ 場所：鹿児島県 市町村自治会館 402 会議室（鹿児島県鹿児島市鴨池新町7-4）
- 報道関係の方からのお問い合わせ先

おおすみ MMO 事務局

- 肝付町役場 企画調整課 山下 卓 [TEL:0994-65-8422](tel:0994-65-8422) E-mail: kikaku@town.kimotsuki.lg.jp
- 鹿児島トヨタ自動車株式会社
未来事業研究企画室 當山 義英 [TEL:099-223-6170](tel:099-223-6170) E-mail: y-touyama@k-toyota.co.jp
- トヨタカーラ鹿児島株式会社
新規事業部 神之田 哲也 [TEL:099-253-1000](tel:099-253-1000) E-mail: t.kaminoda@corolla-kagoshima.jp

70 最も期企業は、回

大手企業の賃上げ率と
妥結額の推移 ※経団連による



ウイルフの盛衰に「た」たとしてい

業種別では、製造業の賃上げ率が2・09%で妥結額が6842円、非製造業が2・24%で8397円だった。全17業種のうち、「鉄鋼」や「自動車」など12業種で賃上げ率は前年を下回った。

大隅3町とトヨタ2社 地域活性化へ連携協定

肝付、錦江、南大隅の3町でつくる「おおすみMMO」と鹿児島トヨタ自動車、トヨタカローラ鹿児島は3日、地域課題解決に向けた包括連携協定を結んだ。人口減少が進む中、地域交通の在り方を軸に持続可能なまちづくりについて、自治体を超えて考えていく。

「おおすみMMO」は昨年9月、3町が高齢者などの移動手段確保を目指して地域事業者と設立した広域協議会が前身。「AIタクシー」や住民による自家用車無償運行、買い物支援など各町で取り組みを進めており、車メーカーから移動サービス全般を手掛ける「モビリティカンパニー」への転換を掲げる社

トヨタの県内販売店2社が協力を申し出た。当面はトヨタ・モビリティ基金の助成を受け、2力年で各町の活動を軌道に乗せることを目指す。

調印式が鹿児島市であり、おおすみMMO会長の永野和行・肝付町長は「2社の知見をいただき、地域で安心して住み続けられる社



調印式
市坪 永野
協定書を手に記念撮影するおおすみMMOと鹿児島トヨタ、トヨタカローラ鹿児島のトップら。3日、鹿児島市の県市町村自治会館

県、新たに8人漁業士を認定
鹿児島県は3日、漁業士認定証交付式を県庁で開いた。地域で意欲的に漁業に取り組む45歳未満の青年漁業士

て 会場外へ持ち出し処
会づくりにチャレンジしていくとあいさつ。鹿児島トヨタ自動車の市坪文夫社長は「移動サービスにとどまらず、まちづくりや観光振興など、地域活性化と一緒に取り組むたい」と語った。
(上飯屋美佳)

3人、営を、的役割、業士で、した。写真。「地、な漁、なる、る」を、た。一平、士と、よう、献す、さつ、認、年に、内、導、た。そ、

思
必
思

